



破壊的イノベーション

令和6年7月3日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

新しい企業への転換は時代先端性への移行を求め、企業システムと製品において新たな市場への参加を実現する。

これら破壊的イノベーションを企業において実現することは高い理解とビジョンを再度求め、時代変化への正しい対応を行う。

これは、企業経営は理解の表現であり、それらは知的生産性や、知的集積産業への転換という今日のトレンドへの参加を行うものなのである。

これらは、GAFAM への考察を再度求める。これらは卓越した自己ビジョンにおいて、その企業を得たことは理解しなくてはならない。また既存システムへの反乱は、これらのビジョンと理想が未来を創造したことも理解すべきである。

これら企業の破壊と創造は、新しい現実への対応の正しい必要性である。これら企業転換は、時代要求に準じた企業環境への移行である。

なぜならば、変化という潮流は、想像に優るものなのである。これらは、優れた現実への転換であり、新しい基準や常識が支配する異なる現実なのである。

理解すべきは、知性という新しい基準と現実がその進歩性を現実として有するのである。旧世代におけるアナログと手工業という基準は、完全に今日その崩壊に直面しているのである。

これが来たるべき新しい技術文明とデジタル社会という新現実なのである。これらの変化が今日革命的变化を経済において、その自由経済システムとともに有するのである。

これら経済における潮流と高揚は、その革命的变化に起因するのである。変化の時代変化を行うものが生き残るのである。これらは破壊的イノベーションの必要性であり、新しい企業としての自己は唯一未来への参加を得るのである。